



# 安全・安心・希望

安全・安心で快適な暮らしを支える地域建設業



一般社団法人 宮城県建設業協会



地域を守る

地域を支える

地域で育てる



一般社団法人 宮城県建設業協会  
会長 佐藤 博俊

## 地域とともに歩む地域建設産業に向けて

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から5年、建設産業の総力を結集した取り組みにより、被災した石巻線・仙石線の鉄道の全線開通や「まちびらき」が各所で開催される等、復興への歩みを進めております。私たち地域建設業は、震災直後より、支援のための道路啓開を始め、地域建設業が資機材及び人員能力を有し、地域の地形、地象、実情を熟知している強みから、様々な震災対応に取組み、復興のけん引役として大きな使命感のもとに作業にあたっております。

一方で、平成27年9月の関東・東北豪雨災害では、宮城県内でも各地で観測史上最大雨量を記録、広い範囲で土砂崩れや渋井川など河川の越流・堤防決壊・冠水などの被害を引き起こし、地域の「町医者」的に活動する地域建設業が真っ先に駆けつけ復旧活動に取り組む等、危機管理産業となる重要な産業でもあります。

東日本大震災を教訓として、震災を風化させることなく全国各地に伝えていくことが被災地で経験した私たちの役割であることを強く認識し、今後も地域のために、地域とともに歩む、安全・安心で快適な暮らしを支える地域建設業における将来にわたっての人材確保・育成にしっかりと取組んでいくことが重要であります。

私たちも、将来の「みやぎの守り手」となる地域建設産業で働く若い力を求めており、モノづくりの楽しさや、女性の視点での働きやすい環境整備のための活動として「宮城建設女性の会2015」を立ち上げる等、担い手となる若者にその将来を託せる夢のある建設産業を実感していただくための環境整備に真摯に努めて参りますので、希望を持ち、輝かしい未来に向かって一緒に頑張りましょう。





## 地域を守る

季候の変動により自然災害が頻発する災害列島日本において、安全・安心を確保するのが地域建設業の役割です。

「町医者」的に地域で活動する危機管理産業として地域を守る。



## 地域を支える

安全・安心で快適な暮らしの実現は、インフラの整備や適切な更新・維持管理によって成り立ち、その利便性は企業誘致や産業の活性化に直結する大変重要な役割です。雇用の創出と経済の好循環へと導くために地域建設業が地域を支える。



## 地域で育てる

小さい頃からのモノづくりの楽しさは、スケールの大きな建設産業においてその魅力が十分に溢れています。

将来の建設産業の担い手を地域とともに歩む、地域建設業が育てる。





# 東日本大震災での宮城県建設業協会の活動

## 俺たちがやらねば誰がやる!

未曾有の大震災にかかわった1人ひとりが、厳しい環境下で様々な経験をしました。地域を愛する使命感のもとに、すべてを差し置いて出勤したあの日。家族を残し日々膨大な復旧事業に邁進しました。復興はまだ道半ばであり、失ったものがどんなに大きくてもやりとげなければなりません。地域のために、地域とともに、いつの時代になろうとも地域建設業の役割だからです。



2011.3.12 仙台市若林区荒浜原町線道路啓開



2011.3.12 石巻市北上町橋浦地区の住民救助



2011.3.13 南三陸町道路啓開



2011.3.12  
雄勝町小島地区県道釜谷大須雄勝線瓦礫撤去



2011.3.13 東松島市大曲地区内水排水作業



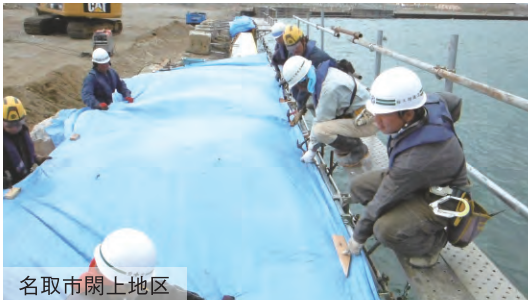
内陸支部より東松島市大曲地区に派遣した会員



2011.3.29 貞山堀瓦礫撤去

## 今も、そして、これからも続ける復興事業

これまで以上に、地域及び住民の安全・安心で快適な暮らしを支えるため、一日も早い宮城の「創造的復興」に邁進致します。



名取市關上地区



南三陸町志津川地区



気仙沼市鹿折地区



仙台湾南部海岸



# 風化させてはいけない記憶がある！

大震災直後からの道路啓開作業や救援活動等、資機材及び人員能力を有し、地域の地形、地象、実情を熟知するとともに、地域建設業でもある大きな使命感のもとに取り組んできたところではありますが、地域建設業が果たした重要な役割を正しく発信するとともに、後世への記録として伝えることがこの大震災を風化させることなく、大震災を経験した当協会の役割であることを強く認識し、今後も地域の安全・安心で快適な暮らしを支える「町医者」として、真の宮城の復興の姿が見えるまで震災記録誌を発刊し続けて参ります。



3.11 東日本大震災 / 宮城県建設業協会の闘い



宮城県建設業協会では、東日本大震災で得た教訓をビジュアル的に子どもたちに伝え、いち早く避難するよう促す内容とした防災教育用DVD「防災と減災」を自主制作し、教育委員会に寄贈する活動も。併せて、震災時の地域建設業の復旧活動を描いた漫画冊子「知られざる英雄たち」も寄贈。

## 日々地域の「町医者」として活動しています。

車が走り、人が歩く道路。多くの人が仕事や旅行で利用する鉄道。お父さんが働くビル。子供たちが通う幼稚園や学校。飲んだり洗ったり、お風呂に使う水道、地域を清潔に保つ下水道など。こうした、毎日の生活を送る上で絶対欠かせないように維持・補修するのも建設業の仕事です。さらに、自然災害で命が、暮らしが脅かされた時、真っ先に駆けつけて住民と地域を守ることも、私たち地域に貢献する「町医者」としての役割です。

「地震、台風、豪雨、竜巻、豪雪、火山噴火等から守る」を合い言葉に、固い決意で地域の防災・減災に寄与してまいります。

平成 27 年 9 月 豪雨 災害 対応



渋井川堤防復旧



R48 県境付近仮設道路法面崩落対応

家畜伝染病の拡大防止に向けた口蹄疫埋設訓練



2015.10.28 口蹄疫訓練

豪雪による雪崩への対応



2014.12.17 作並除雪作業





今!

# 建設現場が おもしろい!

## お父さんの仕事場見学会

子供たちによる仕事場見学会。日頃、家では見られないお父さんの仕事場での「格好イイ」姿が見られて感激する子供も。

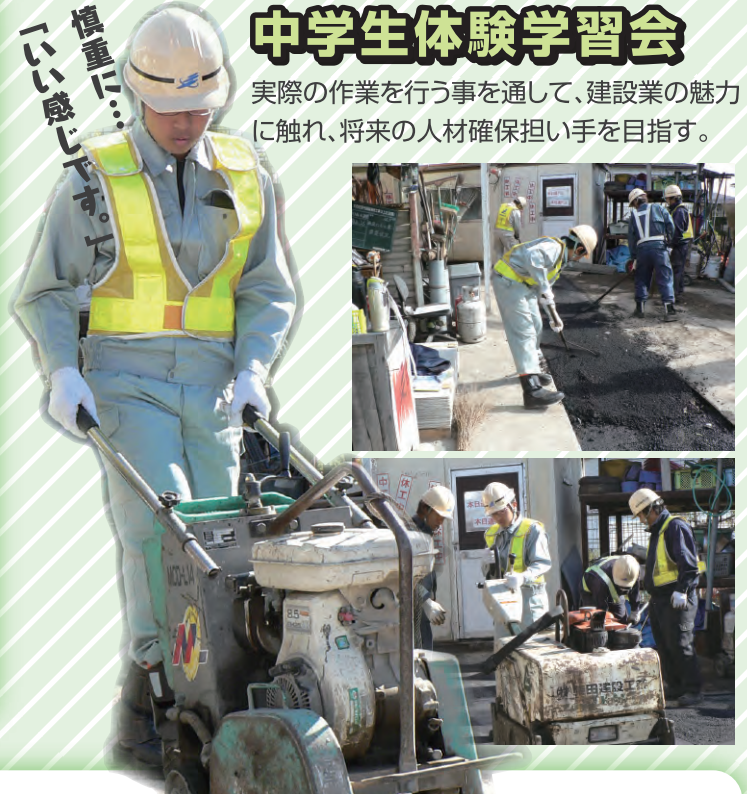
「お父さん  
「カッコイイ」



「慎重に...  
「感じます。」

## 中学生体験学習会

実際の作業を行う事を通して、建設業の魅力に触れ、将来の人材確保担い手を目指す。



## 若手技術者研修会

技術の伝承、新技術の講習など若手技術者による研修会を定期的に行います。

「技術研修で得る事が  
現場で役立ちます。」



## 「宮城建設女性の会2015」設立

建設業界で働く女性の育成と女性の視点での働きやすい環境整備の構築を目指し、企業間を越えた情報交換、交流の場として「宮城建設女性の2015」を立ち上げ、活動中であります。

### 「宮城建設女性の会2015」設立会



設立当日



会員研修

会員交流会



東北地方整備局長との意見交換





# 建設現場で働く

# カツコイ奴



この世界に飛び込んでかっこ良く働いている先輩たちに、「魅力」や「やりがい」を聞いてみました!



★ 建築施工管理 ★

後藤美沙紀さん(24才)

H26年4月入社

小さい時から建築に興味があり、特に福祉施設の建物の設計をしたいと大学の建築科で学びました。卒業後、現在の会社に就職しましたが、建築の現場を良く知り、また工程の組み方を把握し、身につけるため、現場管理の仕事を勉強中です。外の仕事でもあり、職人さんの怖いイメージも少しあったんですが、実際は優しく教えてくれる人ばかりでした。私も女性ならではの立場で、職場を明るくするように心がけています。建設業界は女性が少ない職場ですが、今後同じ立場の女性と交流する機会ができればうれしいです。

将来は設計の仕事に携わりたいと思っています。そのためにも、様々な現場を経験し、会社の期待に応えられる人材になれるように頑張っていきます。



★ 型枠大工 ★

阿部 幸仁さん(19才)

H27年9月入社

高校卒業後はいったん別の職業につきましたが、子供の時からモノ作りが好きで形に残るものを作りたいという想いをすてられず、友人の父親が型枠大工をしていたきっかけでこの業界に飛び込みました。

なにしろ初心者の私は覚える事が数多く、諸先輩に教わりながら頑張っています。この仕事は10年、15年やって一人前と聞いております。職場内も明るく又、構造物が完成した時の喜びは何ものにもかえられない達成感でいっぱいです。今後ともこの職業を通して、地元の復興に少しでも貢献出来るように努力していきます。



★ 鉄筋工 ★

熊谷 龍道さん(34才)

H25年5月入社

東京でアルバイト生活をおくっていた時に東日本大震災がおこりました。出身地宮城の様子が気になり、地元の復興に役立ちたいとの思いで帰郷し、現在の仕事に就きました。鉄筋工という仕事は全くの素人でしたが、先輩の方々から教わりながら日々勉強の毎日を送っております。

地元住民の生活基盤を作っているという誇りを持って、今後経験を積み、技術を高めていきたいと思っております。

これから職につこうという若い人達へはモノ作りの楽しみを味わいながら地元の復興に役立つ職業なので、思い切ってチャレンジして欲しいと思っています。



★ ダンプカーオペレーター ★

佐々木みゆきさん(44才)

H24年6月入社

震災後働き先がなかった時社長に声をかけていただき、復興の手助けが出来ればと思い入社しました。現在は運輸部に所属し、ダンプカーのオペレーターをしております。土砂等を運ぶ仕事をしておりますので、量をこなすのが少し大変ですが、現場が完成し、形として見た時は何とも言えない喜びと仕事のやりがいを感じます。建設業の現場は女性が少ないので、たまに同性が働いている姿を見かけると、うれしくなります。

現在の建設業は以前と違い安全で清潔な環境になっていますし、女性が出来る職種も数多くありますので、どんどんこの業界に入ってきて欲しいと思います。



